

< 分科会 >

○ 第 1 分科会

“コミュニティ”と図書館 ～新館整備後に見えてきたこと～

内容：平成27年以降、県内には6つの新しい公共図書館が誕生しました。そのうちの3館の取組から、本の提供だけに留まらないコミュニティの拠点として機能する図書館の在り方を学びます。

< 発表者 >

嘉賀 収司 氏（境港市民図書館 館長）

松本 邦裕 氏（岩美町中央公民館 次長）

角田 有希子 氏（南部町立図書館 館長）

令和8年7月30日(木)

第31回鳥取県図書館大会

第1分科会「“コミュニティ”と図書館

～新館整備後に見えてきたこと～」

本のある広場をめざして

境港市民図書館
館長 嘉賀收司



【境港市の紹介①】

- 環日本海オアシス都市を目指した市政運営
- 大砂州である「弓浜半島」の北端に位置し、秀峰大山を背景に、風光明媚な白砂青松の海岸線を有した環境
- 境港、境漁港、米子鬼太郎空港の3つの「みなと」
- 魚と鬼太郎のまち



【境港市の紹介②】

- 砂地で平地
- 人口約3万1千人が暮らす5km四方の自治体
- 小学校(6)・中学校(3)・高校(2)
- 市内には7公民館

図書館に関わって感じたこと

「おもしろい!

何でもありのワンダーランド!!」

だけど

①人によっては、敷居が高いところ?

②「こうあるべきである」といった概念があるところ?

③様々な本を読むことをあきらめている人がいる

図書館って

交流センター 建設における 図書交流広場 (市民図書館) コンセプト

- 子どもから高齢者まで気軽に立ち寄れる
生涯学習・交流・憩いの広場
- 中学生・高校生の学習の場の提供
- 境中央公園との一体化の連続性
- 自衛隊・防災の関連資料の充実
- 境港の地域の特性を活かした企画展示
- 賑わいのスペースと静寂のスペース

境港市民 図書館の 4つのミッ ション

【みなとテラスの基本理念】

市民が集い、安心できる、交流と防災の拠点づくり
～みんなが集まる広場のような複合施設～

【市民図書館の4つのミッション】

- 1 幅広い資料・情報の収集と提供を行います。
- 2 多様な利用者への対応を目指したサービスと場を提供します。
- 3 まちや市民とつながる図書館運営を行います。
- 4 市民が集う「交流」・「表現」・「体験」の場としての図書館づくりを目指します。

本のある広場 「開かれた 空間」

- ・誰もが利用でき、自由な時間
を過ごすことができる場
- ・交流、表現、体験などができる
学びの場
- ・人と本、人と人がつながる場



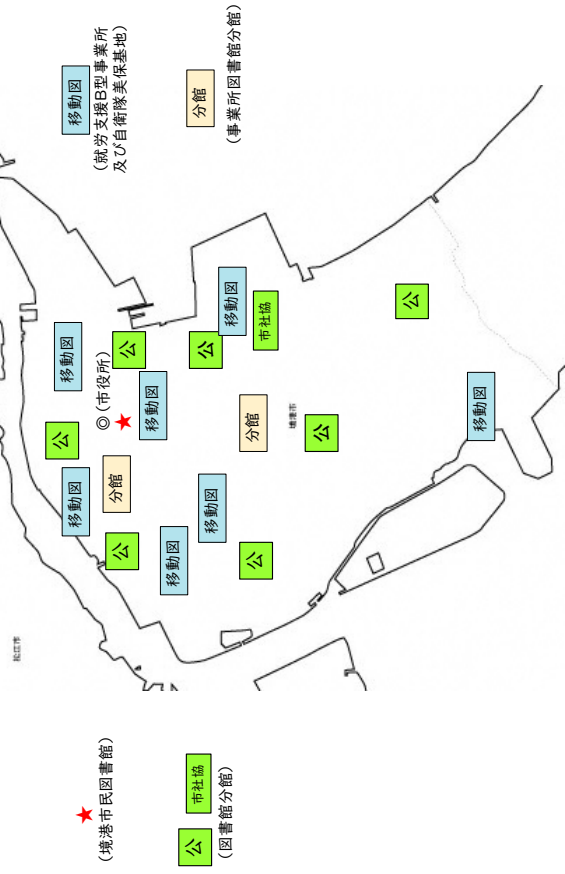
まち・人 との関係(1)

- ①誰もが来館しやすく、居心地の良い空間づくり
 - ・例えば「読書のあしあと」（読書履歴通帳）導入
- ②境港市とゆかりのある人や事業所による
学びの講座
 - ・人やまちとつながっていると感じられる場
 - ・自分のまちに関心を持つことができる
 - ・生活に役立つ、生活が前向きになる
- ③学びの場
 - ・小学2年生生活科学習（市内6校）
 - ・中学2年生（市内3校）、市内外高校生職場体験
 - ・島根大学教育学部、就労支援施設との連携
 - ・学びの成果発表

まちまると図書館

- ・分館：市内公民館7つ・市老人福祉センター
貸出・返却の場として
- ・移動図書館車の活用
- ・就労継続支援B型事業所（6か所）
- ・自衛隊美保基地
- ・市内幼保園
- ・イベント参加（漁村市。マグロ感謝祭など）
- ・団体貸出の推進～事業所企業への呼びかけ
- ・音読教室（館内・市内5公民館）
- ・その他

まち・人 との関係(2)



読書バリアフリーの推進

～本と人をつなぐ、つなぎなおす～

- ・聞く読書体験会を開く
（県ライトハウス点字図書館との共催）
- ・つながるサロンとの連携を行う
- ・休館日の開放案内をする
- ・施設設備の充実を目指す
- ・市関係機関との連携
- ・その他

まち・人 との関係(3)

課題 と 今後

自分たちの図書館の取組を
どうとらえるのか

- 一人よがりになっていないか
- 役に立っているのか

問い続けることが大切では
ないか

まちづくりは人づくり

岩美町中央公民館次長 松本邦裕

1. 岩美町立図書館の紹介

2. まちづくりは人づくり

～未来に向け まなぶ・つどう・つなぐ 創造の場～

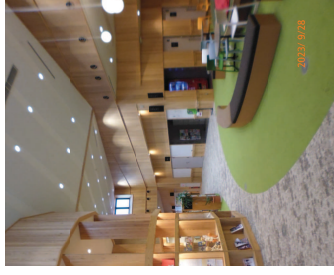
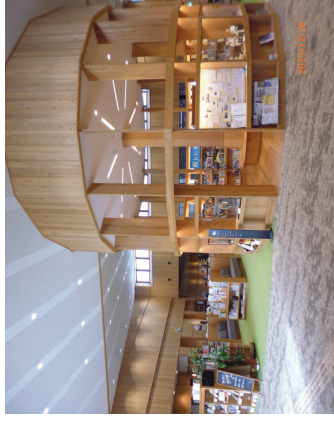
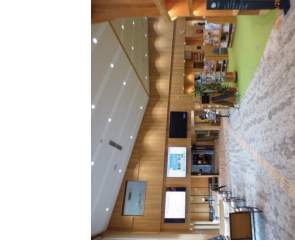
3. 未来に向けて

図書館とコミュニティ

～新館整備後に見えてきたこと 南部町立法勝寺図書館～

2026.7.30 鳥取県図書館大会第1分科会 南部町立図書館 館長 角田有希子

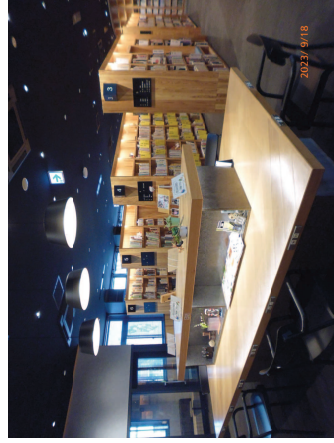
キナルなんと法勝寺図書館



法勝寺図書館（館内1）

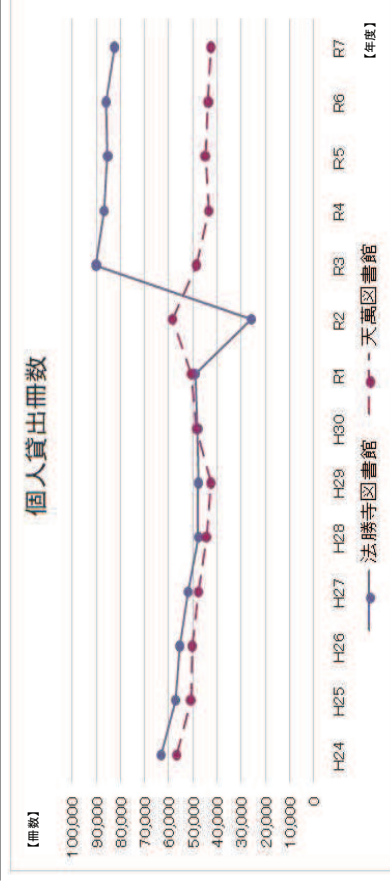


集いのエリア

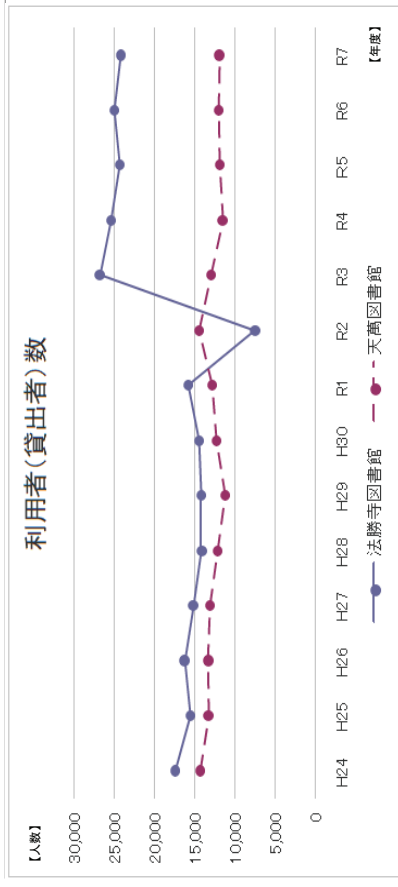


静かなエリア

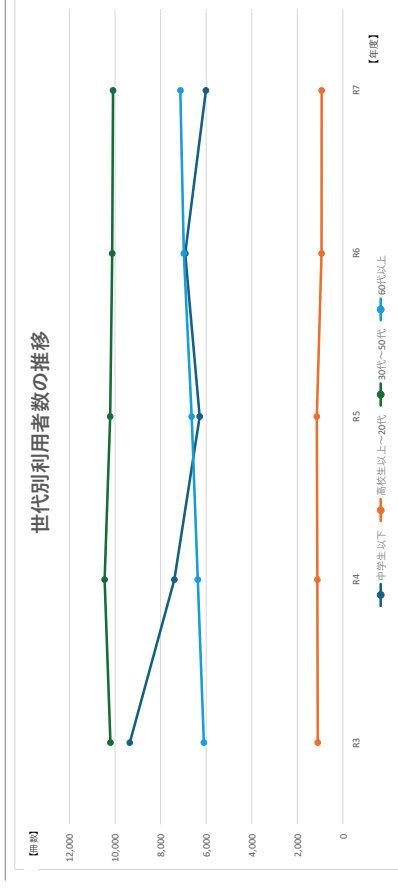
利用統計からみる利用状況



利用統計からみる利用状況



利用統計からみる利用状況



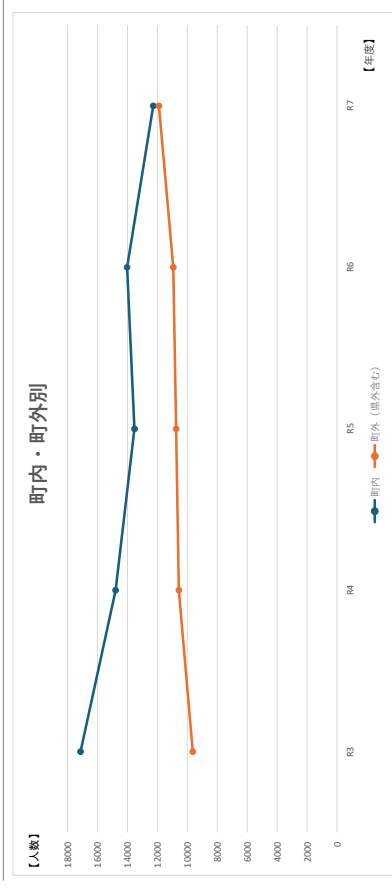
法勝寺図書館(館内2)



閲覧席とキャレル席

ブラウジングコーナー

利用統計からみる利用状況



リニューアルオープン後の取組 ～図書館にかかわる人を増やす

図書館を活動の場に、主体的に関わる人たちを増やす

- ・図書館運営協議会
- ・おはなし・ドン
- ・葉の会
- ・個人ボランティア
- ・図書館応援団なんぶらりー

リニューアルオープン後の取組 ～おすすめ本コーナー



話題 & おすすめの本



なんぶらりーコーナー

リニューアルオープン後の取組 ～より身近な場所へ本を届ける

本が読める場所、本を借りる場所、本を返す場所を広げ、図書館に
来館が困難な方でも読書を楽しむ環境を提供したい

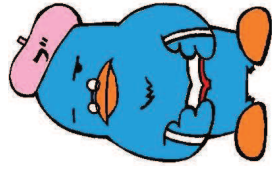
児童館2館、児童クラブ2か所、保育園内子育て支援センター2か
所、高齢者デイサービス2か所、地域振興協議会3か所、地域の拠
点施設1か所、認知症カフェ1か所

貸出対応・・・5か所

そして、これから

- ・読書の楽しさを子どもたちに伝えたい
- ・交流拠点としての図書館を目指したい

ご清聴ありがとうございました



南部町立図書館キャラクター フッぽん

○第2分科会

”読書推進“と図書館

～朝読書再考（最高）岐路に立つ取組の未来を展望する～

Ⅰ 実践発表

(1) 小学校の取組

「朝読書再考～稲葉山小の場合～」

発表兼司会 砂場 路子 氏（鳥取市立稲葉山小学校 校長）

発表 西口 美智子 氏（鳥取市立稲葉山小学校 学校司書）

(2) 中学校の取組

「朝読書の現状と展望」

発表 村中 ひろみ 氏（鳥取市立気高中学校 教頭）

発表 北村 正美 氏（鳥取市立気高中学校 学校司書）

(3) 高等学校の取組

「岩美高等学校 朝読書の現状と課題」

発表 宮本 知子 氏（鳥取県立岩美高等学校 司書教諭）

2 パネルディスカッション

テーマ

みんなで考えよう！

「学校における朝読書の意義とこれからの学校図書館のあり方について」

3 総括

○第3分科会（ワークショップ）

“手作り絵本”と図書館

～絵本を創る楽しみを味わおう ○・△・□から生まれる世界～

内容：県西部を拠点に活動する絵本作家しまだようこさんをお招きし、図形を使った絵本創りのワークショップを実施します。絵本の創作の過程やその楽しさを体験します。定員25名。

※会場で材料費300円をお支払いいただきます。

<講師>

しまだ ようこ 氏（絵本作家）

○第4分科会（NPO法人本の学校 主催）

“出版”と図書館 ～地域の記憶を残すために～

内容：地域資料を収集・整理し公開する図書館の役割と、情報公開や広い意味での
“出版”の可能性について、「一箱古本市」の仕掛人でもあり、各地の図書館
取材する南陀楼綾繁氏に御講演いただきます。

講師：南陀楼 綾繁 氏（ライター・編集者）

意見交換コーディネーター：柴野 京子 氏（NPO法人本の学校 理事長・上智大学
文学部新聞学科 教授）

本日は第31回鳥取県図書館大会へのご参加ありがとうございました。

来年度は、県中部での開催を予定しています。

アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。



鳥取県図書館協会への新規加入・会員継続のご案内



鳥取県図書館協会事務局（鳥取県立図書館内）

電話：0857-26-8155 FAX：0857-22-2996

電子メール：kyokai@library.pref.tottori.jp